

「技術者を育てたい」という信念で 会社設立。世界初・日本初の開発を 手掛ける技術屋集団の挑戦は世界へ

失敗しても 挑戦し続けることが大切

機械・電気・コンピュータなどあらゆる分野の大手企業が、東出雲町まで技術開発の相談にやってきました。なぜ、そんな事が起こるのでしょうか。

エステック株式会社は、永島正嗣社長の「技術者を育てたい」という熱い想いから生まれた、従業員40名中、設計・開発が20名と半数を占める技術屋集団です。タンク品質の分析装置、真空プラズマ装置など、世界初や日本初の開発を多く手掛けており、今もIPS細胞の研究に関わる装置など、10年先を見据えた技術開発に取り組んでいます。特殊装置というニッチな領域に特化した技術力の高さ、分野を問わない柔軟な対応が評判を呼び、セールの高さと引き合いがくるようになったのです。また、「クレームは宝である」と、クレームをオープンにして共有することを大切にしています。当社では、クレームが発生したら報告書を書いて皆の前で発表します。しかも、クレームを報告した者

の評価はマイナスにはなりません。そうすれば、ミスを隠さなくなり、全体で共有して、同じようなミスを会社として起こさないという意識が高まるのです。

技術力向上とコミュニケーションを 軸に、新卒者は5年かけて育てます

永島社長は「技術力を高めるには、コミュニケーションが最も重要である」と、設計も組立もお客様と直接話し合うことを奨励しています。社内では、設計・組立の部署間の垣根をなくし、わからないことを気軽に聞き合せて、自分が足りないところを補い合う職場環境をつくっています。「顧客から学び、顧客に育てていただく」常に刺激があり、交流できる職場がある、「これがモチベーションにつながり、成果に結び付くのです。

新卒の場合は5年かけて育てます。まず、カスタマイズ製品のアシスタントに入ります。次に、カスタマイズ製品の設計・開発をメインで行うようになり、この段階でお客様との対応を任せます。そして、新製品の設計・開発を一から

任せ、一人前の「エステック・マン」になるのです。また、これまでとは異なる業種もテーマを与えて挑戦させ、技術対応力を身につけるようにしています。「どの分野でも対応できることが競争優位になる」。この考えが、ニッチ領域で生きていくための鉄則だと永島社長は語ります。

今後、技術者に求められるものは、 グローバル視点で物事を考える力

生産拠点の海外移転だけでなく、最近では開発拠点を海外に移転する大手企業も出てきました。もはや、人材のグローバル化は避けて通れない状況になってきています。当社で

も、現在中国で工場を設立し、タイにも会社を設立中とのことです。永島社長は「今後はグローバルな視点で物事が考えられる技術者が必要だ」と言います。そのためには、ダイバーシティな人材が必要で、当社では中国・韓国の技術者が数名就業しています。海外では現地採用し、日本から技術者が出向いて打ち合わせなどを行う体制をとっています。本社の設計・組立担当者を対象に、業務扱いで語学教育(英語、中国語)を始めたのもグローバル化への対応の一環です。



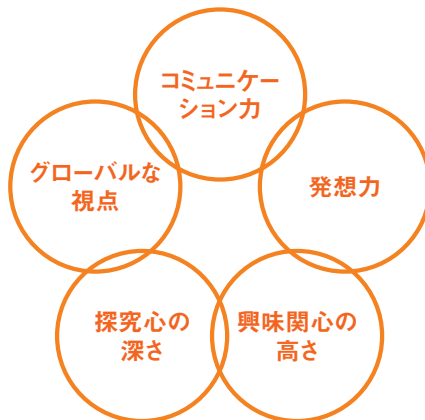
EPOCH EPISODE
私の転機
設計技術者
奥田崇喜

世にないものを創り出す熱い想いと チームワークが自己成長につながる

永島社長のモノづくりへの熱い思いを聞き、技術者としてのエネルギーを感じたことが入社動機の一つでした。設計において永島社長の最終承認が必要なのですが、最初の図面はまず通りません。永島社長は、とにかく引き出しが多く、図面を見ただけで何がダメかがすぐわかるようです。ただダメ出しをするのではなく、何故ダメなのかを具体的に教えてくれ、改善するためのいろんなパターンと一緒に考えてくれます。わからないことは先輩に相談しながら少しずつ作り込んでいくコミュニケーションを重視した開発環境のおかげで、未経験の私でも安心して仕事に取り組みました。

入社2年から3年で永島社長からテーマを与えられ、装置設計を1台1担当で任せてもらえます。世にないものなので、開発工程全体の進捗管理と顧客とのすり合わせが重要になります。各工程間のコミュニケーションの良さや先輩達のサポートのおかげで、今では顧客から問い合わせがあった時に、自分の判断でフィードバックできるほど開発知識や対応方法の引き出しが増えました。

【重視している人材育成ポイント】



代表取締役 永島正嗣

■ 学生から見た魅力

技術分野が機械、電気、コンピュータ、人間工学、バイオテクノロジーなど多岐にわたっているので、専攻分野は特に問われません。先端の技術開発に携われますし、失敗することがマイナス評価にならないので、積極的にモノづくりに取り組むことができます。自分が主体的に取り組むことで、成長できる可能性は十分にあると思います。また、5年かけて丁寧に人を育てるといった育成方針があり、OJTなどで先輩社員がサポートする体制があるので、安心して働ける職場環境ではないかと感じました。

企業 DATA

資本金●8,500万円
従業員数●40名(平均年齢42歳)
設立●1991年3月
売上高●5億8,200万円
事業内容●試料調製装置、切断機、真空装置など自動省力機械のオーダーメイドによるオリジナル製品の研究開発・設計・製作
初任給(基本給)●日給月給 大卒19万円、短大・専門卒16万円、高卒15万円 諸手当(定額支給)/住宅手当、食事手当、自己研鑽手当
保険●雇用・労災・健康・厚生年金保険

最近の雇用状況 (30歳未満の若年雇用者)	22年度			23年度			24年度		
	採用人数	1	3	2	2	1	1	2	1
離職者数	0	2	1						

福利厚生●昇給年1、賞与年2、退職金制度、リフレッシュルーム有、社内旅行など
休日休暇●年間休日106日(日曜、夏季、年末年始、その他会社カレンダーに準ずる)

連絡先

〒699-0101 島根県松江市東出雲町損屋2797-3
TEL.0852-52-6100
URL.http://stc-jp.co.jp

